

2026 年 07 月 28 日 令和 8 年熊本地震 速報

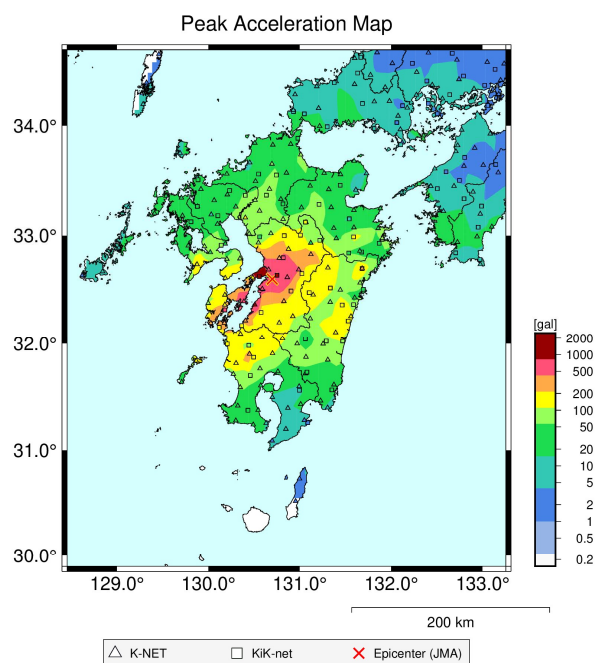
SMRC(株)技術顧問 半澤和夫

2026 年 07 月 28 日 16 時 27 分頃に熊本県熊本地方を震源（深さ 10km、マグニチュード 7.1、気象庁による暫定値）とする地震が発生し、熊本県宇城市・氷川町で震度 7 を観測しました（気象庁発表）K-NET・KiK-net で記録された最大加速度は KiK-net 三角(KMMH07)観測点の 1667gal(三成分合成値)でした。

10 年前に発生した熊本地震と今回の地震は日奈久断層帯の延長上であり、今回、最大加速度を記録した三角の最大加速度、加速度応答スペクトルと 10 年前の益城町のデータと類似しており、倒壊を免れた建物と言え許容応力度を超えた建物も大はずで、もし、10 年前の様に、2 度 3 度と 3 g 越えの卓越周期 1 ～ 2 s（キラーパルス共振）を持つ地震に見舞われたら、新築と言えども損壊の可能性は高いので（2016 年益城町では新築 40%が損壊）1 週間ほどは地震に最大の注意が必要です。

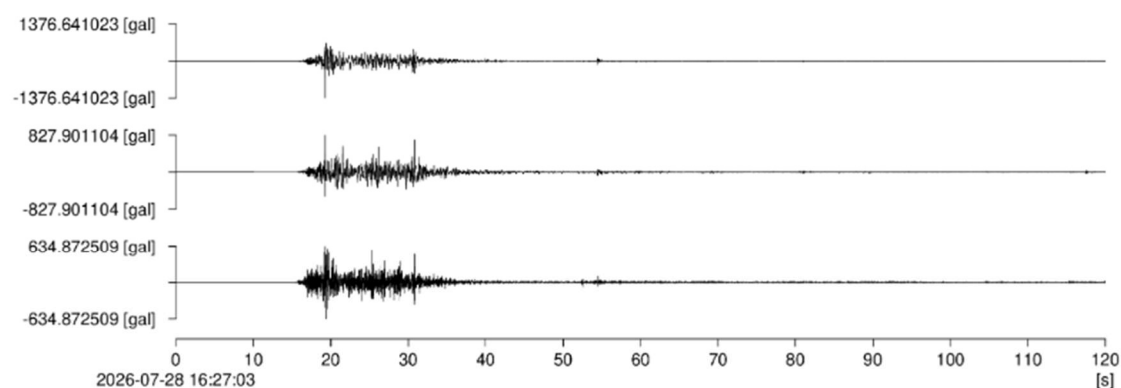
ねこ土台型免震装置を採用した住宅は九州地区で 9000 棟になりますが、被害報告は今のところありません。基礎（地震入力速度）と土台（躯体、応答速度）に速度差が出るので共振しない為です。

もし、10 年前の様なキラーパルスが来ても共振しにくいという特徴があり、熊本地区 30 棟全てに損傷はありませんでした。



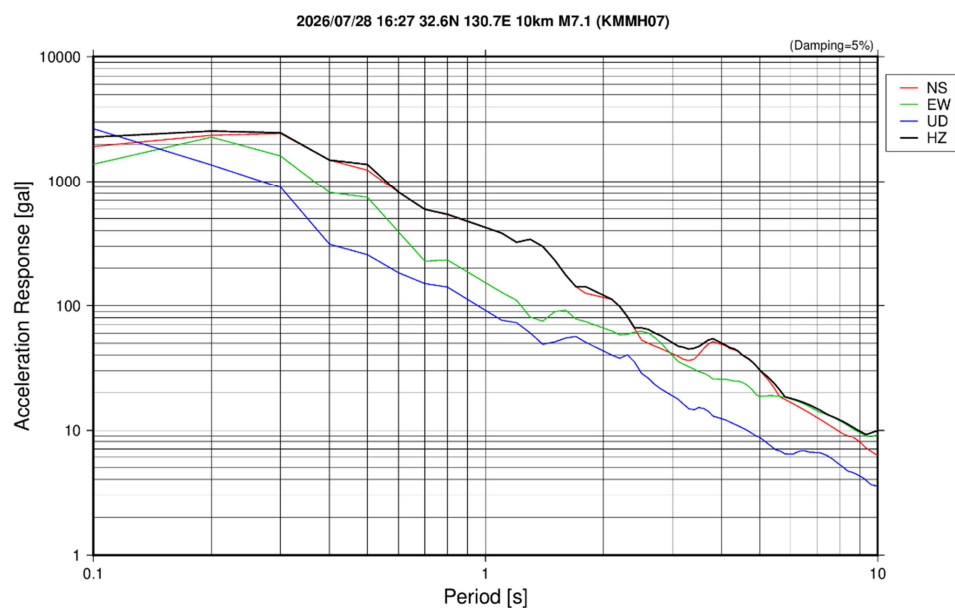
2026/07/28-16:27 32.600N 130.700E 10km M7.1

KiK-net 三角 (KMMH07) 観測点の強震動波形



・ K-NET・KiK-net観測点の中で最大加速度（1667gal、三成分合成値）を記録したKiK-net三角（KMMH07）観測点の強震動波形。

KiK-net 三角 (KMMH07) 観測点の絶対加速度応答スペクトル



観測点最大加速度上位 10 件

No	観測点名	最大加速度	最大速度	計測震度
1	KiK-net 三角 (KMMH07)	1667gal	51cm/s	5.8
2	K-NET 田浦 (KMM013)	952gal	37cm/s	5.6
3	KiK-net 豊野 (KMMH14)	864gal	93cm/s	6.3
4	KiK-net 益城 (KMMH16)	725gal	82cm/s	6.1
5	K-NET 宇土 (KMM008)	668gal	71cm/s	6.0
6	K-NET 砥用 (KMM011)	666gal	38cm/s	5.7
7	K-NET 龍ヶ岳 (KMM018)	582gal	21cm/s	4.9
8	K-NET 八代 (KMM012)	483gal	131cm/s	5.7
9	K-NET 矢部 (KMM009)	452gal	17cm/s	4.9
10	KiK-net 新和 (KMMH10)	441gal	24cm/s	5.3

絶対加速度応答スペクトル

